

エンペラー[®]

豆つぶ[®]250



ノビエ



ホタルイ



オモダカ

皇帝の品格

- 有効成分エフィーダ[®]（一般名フェンキノトリオン）を配合
- 3成分で問題雑草をワイドに除草
- スピーディーな除草効果
- 水稲に高い安全性



※商品画像はイメージです。
®はクミアイ化学工業(株)の登録商標



エフィーダ[®]配合
問題雑草に広く効く!!

- 有効成分：ピラクロニル………8.0%
ピリミノバックメチル……3.0%
フェンキノトリオン………12.0%
- 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)



特長

- 有効成分“エフィーダ®(一般名:フェンキノトリオン)”を配合した3成分の混合剤です。
 - エフィーダ®によりコナギやミズアオイなどの広葉雑草、ホタルイやコウキヤガラなどのカヤツリグサ科雑草が白化し、高い効果を示します。また、SU剤抵抗性雑草にも効果を示します。
 - ノビエ3葉期まで使用することができ、また、ピラクロニル配合により速効的に褐変・枯れ症状がみられます。
 - 高い水稲安全性を示し、移植直後から使用することができます。また、飼料稲栽培時にも使用することが可能です*。
- *既存の4-HPPD阻害剤に感受性が高いとされる、やまだわら、とよめき、タカナリ、モミロマン、ミスホチカラ、ハバタキ、おどろきもち、ぶくおこし、えみだわら、もみゆたかに対し、エフィーダは高い安全性を示すことを確認しています。WCSIについては別途、稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアルを確認の上、ご使用願います。
- 10アール当たり250gと軽量で、拡散性に優れた豆つぶ製剤です。

適用雑草及び使用方法

2022年10月26日現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	250g	1回※	湿水散布、湿水周縁散布 水口施用又は 無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・ 藻類による表層はく離	稲出芽前期～ ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			湿水散布又は 無人航空機による散布

有効成分 フェンキノトリオン(エフィーダ®) について

フェンキノトリオンは水稲安全性に優れた広葉、ホタルイ防除剤で、雑草に対しては白化症状を示す4-HPPD阻害剤です。田植同時処理や鉄コーティングを含む直播栽培、飼料用稲品種等*に対しても高い安全性が確認されており、水稲作の幅広い場面で使用が想定されています。



※各有効成分を含む農薬の総使用回数:ピラクロニル2回以内、ピリミノバックメチル2回以内、フェンキノトリオン2回以内

上手な使い方



△使用上の注意(抜粋)

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ウリカワは3葉期まで、ヘラオモダカは4葉期まで、ミズガヤツリは5葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 湿水散布または湿水周縁散布にあたっては、やや深めの湿水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
- 湿水散布の場合は田面に散布し、また、湿水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湿水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
- 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湿水状態(水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないよう注意してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湿水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため周縁散布または水口施用をさせ、本田内で水田全面に散布してください。
- 水口に対して風速5m/sを超える向かい風が吹いている場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため水口施用をさせてください。
- 直播水稲に使用する場合、発芽直後の稲に対して葉害を生じるおそれがあるため、稲の出芽前期以降に散布してください。
- 本剤は吸湿性があるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めに使用してください。
- 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 専用の粒剤散布装置によって湿水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離してほ場内に散布してください。

△安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布の際は保護眼鏡を

- 着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散・流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した場所に保管してください。

詳しい使い方、
登録内容は
こちらから。

豆つぶ250



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2022年10月26日現在の知見に基づき作成しています。 2220(22-11)